

公益信託世田谷まちづくりファンド

第25回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【1回目応募グループ】

< 2-1 シモキタ名人戦実行委員会 >

- ・年代を越えて楽しめるクラシックゲームを中心としたまちづくりは、近年マンガや映画で多くの人に身近となった囲碁や将棋、カルタなどの時代のながれも大きな後押しとなると思います。「縁台」という日本らしい「場」が象徴する温かみはとても素敵など思います。また、本イベントの盛り上がり起点に、地域の飲食店との連携を強め、うまく協賛を集めたり、ゲームの後の交流の場づくり、まちの賑わいづくりを積極的に展開するプランを期待します。
- ・将棋を通じた地域活性化の取り組みで、非常にユニークです。商業地域の賑わいづくりだけではなく、日常的な多世代のつながり形成も大いに期待されます。他にないアプローチとして、工夫次第で多くの展開ができそうです。様々なチャレンジを期待しています。
- ・今回申請された企画の大きな部分が既に実施済みの「シモキタ名人戦」で、イベント自体は商店街の集客上なかなか秀逸だと思われれます。ただし、一日だけの交流・賑わいは、まちづくりや地域活性化への貢献としてはきわめて限定的だと考えます。イベントをつくるプロセスをオープンにしたり、小さくとも一定程度の頻度で人々が集まる機会を設けたりするなど、「ニュータイプの縁台将棋」が「日常としての風景」になるように活動を発展されることを期待します。

< 2-2 中町コミュニティサロンプロジェクト >

- ・「学生だからこそできること」で、地域づくりに貢献したい___。とても頼もしいと思います。まわりからいろいろな期待があると思いますが、自分たちの目線を大切に

にして、未熟かもしれないけれど思い切りよく、時にはしたたかさを持って、力を発揮してほしいと思います。

そして、活動を通じて多彩な人や組織に出会うと思いますが、一人の人として交わりながら、時には意見をぶつけ合っしてほしいと思います。そこには「学生だから」という特権はなく、水平な関係の中で、ものごとをすすめることが求められると思います。この中町のプロジェクトで得た経験が、みなさんの将来に、あるいは、どこかのまちで役立てることができるのなら、それはプロジェクトにかかわるみなさんの、何よりの励みにつながるのではないのでしょうか。

- ・分譲マンションは内部だけでコミュニティを作る傾向がありますが、地域を巻き込んだ取り組みに期待します。是非、コミュニティサロンは通りから視認性の高い場所に設置して、一般区民が参加しやすい工夫をしてください。地域と産学連携する事で新しい街づくりのモデルとなるように頑張ってください。
- ・深刻な高齢化が進む中、今回の複合開発とコミュニティサロンの取組はこれからの高齢者の住環境やコミュニティを考える上でとても重要だと思います。また、この取組に学生（若い世代）が関わることも、とても重要な役割だと思います。学生は卒業でメンバーが変わっていくと思いますが、活動のノウハウや信頼関係をうまく引き継いでいけるよう、工夫しながら進めていただければと思います。

< 2 - 3 NPO 法人車椅子社会を考える会 >

- ・アクセシビリティは、いつの時代でも大きな社会課題として認知されながらもなかなか解決が進みません。ハード（車両、環境）とソフトがなかなか歩調が合わない中、十分な成果があげられていないのだと思います。そうした中で、最初から全てを網羅するのは難しく、なかなか成果も得られません。まずは当事者として、みなさんに共感の得られる発信を！ また、特定の商店街などで、数人でも良いので、高い評価が得られるような小さくとも、印象深い（記憶に残る）活動を心がけていただきたいと思います。
- ・当事者でなければわからないことも多い非常に大切な活動だと思います。専門家の支援も必要だと思いますので、ワークショップの規模などを工

夫して、来年度以降につながるような着実な成果が上がることを期待しています。

- ・2020年のパラリンピック開催に向け東京では急ピッチでバリアフリー化が進んでいますが、大事なのは貴会が提唱する「心のバリアフリー」です。今回の助成金では貴会が当初計画していた規模の講演会の開催は難しいと考えられますが、高齢化社会へ向け貴会の活動は非常に重要です。今年度は貴会が大きく育つための基礎体力づくりの期間と考え、情報収集、地域へのネットワーク作り、協力者を増やすことを先ずしてください。貴会の活動が世田谷区を「心のバリアフリー」先進区としてくれることを期待します。

< 2-4 被災地とつながる市民ネットワーク世田谷 >

- ・グリーンホットラインのコンセプトには、とてもワクワクさせられました。支援というのを超えて、実際の世田谷区の生活にどのような価値を見出すのか？ 安心安全の他に、それを積極的に消費者が採用するバリューは何か？ 商品自体にも競争力があると思いますが、福島とつながることによるバリューはどこにあるのか？ 知ってもらう、から買ってもらうまでのジャンプをどのように仕掛けていくのか？ それによって、この事業の大きな可能性が見えてくるものと思います。とても期待しています。
- ・安全な農産物を通じて生産者とつながる仕組みは双方にとってメリットが高いと考えられます。ツーリズムやインターローカルな交流など、商業の枠組みを超えて様々な展開可能性がありそうです。地道な活動を期待します。
- ・食、農、エネルギーをテーマとした福島との市民レベルの相互交流が根付く事を期待しています。そのため、継続的な取り組み、参加の輪を広げる取り組みなど、課題を一つひとつ克服し、運営の基盤を整えていただきたい。

< 2-5 Setagaya Mi-Ni Project (昭和女子大学国際学部英語コミュニケーション学科ナニヤベニ) >

- ・世田谷区では「世田谷まちなか観光交流協会」を組成するなど、観光は

大きな関心ごとです。一方、インバウンドに向けた施策はあまりエッジが効いたものがなく、皆さんの活動は非常に注目に値するものと思います。一方で、現在は、外国人への情報保障という側面が強く、本当に外国人が訪れるためには、コンテンツの充実も欠かせません。特定の商店街との連携に加え、商店主と具体的に、外国人の体験価値の高い企画を練り上げてください。

また具体的な事業計画も合わせてご検討をお願いします。外国人を誘致し、それによって得られる利益で、皆さんの運営費が賄われるなど、継続していくための体制を考えてみてください。必要なことが多々ありますが、優先順位を決めて、インパクトの高いものに集中してください。まずはコンテンツをしっかり定めて、進めていただきたいと思います。

- ・世田谷区は核となる観光スポットはありませんが街歩きの楽しみである商店街は充実していると思います。ツアーを開催すれば旅行者だけではなく地元に住む外国人も関心を持つかもしれませんがこの活動が成功する最大のポイントは Actionbound のアプリを認知させ、インストールさせるかだと思います。次にツアーの内容だと思います。ここに重点を置いて認知させる工夫をしてください。期待しています。
- ・海外からの旅行者は、長期滞在型なので、ゆっくり散策でき、外国語の案内があれば観光地になり得るというお話を伺い、世田谷のインバウンドの可能性を再確認できました。この活動を通して得た成果や課題は、是非区内の観光や風景づくりに関わる人たちに共有していただき、大きな取組につなげていければと思います。

< 2-6 みんなのリーダーハウス計画実行委員会 >

- ・リーダーハウスは30年以上におよぶプレーパーク活動の象徴です。リーダーハウスを考えることはプレーパークそのものを考えることだと思いますが、子どもやおとなにとって、地域、あるいは管理者の区にとって、リーダーハウスがどんな存在だったのか、そのふりかえりから始められるといいと思います。今や全国各地にあるプレーパークですが、その先駆けとして、今回の建て替えプロジェクトは、世田谷区の内外から関心を集めるはずで、ふりかえる中で見えてきたことや、プロジェクトの経過はぜひ、積極的に発信してください。寄付募集など今後のプロジェクトの推進力につながると思います。

- ・夢のある話に、地域の方々、様々な分野の専門家など多くの方々を巻き込んでいこうというプロジェクトですね。今年の活動が、建て替えに向けた資金集めにもつながると思うので、40周年に向けて、頑張ってください。
- ・羽根木プレーパークは日本初の冒険遊び場として現在もマスコミに多々取り上げられ、地域にもすっかり溶け込んでいるように見えます。しかし、利用する子どもも保護者も世代交代がくり返され地域との結びつきが薄くなっているとも聞きます。以前ファンド助成を受けた烏山プレーパークの遊具作りが地域との連帯を深めたように、このリーダーハウス計画に多くの地域住民を巻き込み、子どもの遊び場というだけでなく、多世代の地域の絆づくりの場として機能することを期待します。

< 2-7 下北沢にて製作委員会 >

- ・サブカル聖地としての下北沢が抱える「まちの形の変化」という課題を乗り越えて、区民に広く愛される文化、まちと成長していくために、より参加しやすい無料ステージを開設するという事は重要な視点だと思います。ファンドを活用してそのステージを多く作ることは難しくなってしまったかもしれませんが、新しい才能の発掘や、下北沢を愛する人、下北沢に育ててもらった人、地域のために貢献したい人たちのボランティアな協力などを得て、ぜひ当初の思いを実現する企画へ知恵を絞ってもらえたらと思います。
- ・本来有料のイベントだが、無料ステージをつくり地域に参加機会を広げる企画は貴重な取り組みです。大いに期待できます。ただし、無料ステージの位置付け（有料イベントへの導入か、コンテンツを活かした交流・機会拡大なのか）によって地域へのインパクトは変わると考えられます。地域の商店や住民の関わりしるをどう広げられるかが鍵かもしれません。
- ・下北沢をフィールドに、工夫を凝らして音楽を基本とするイベントであると思います。無料ステージを設けて多くの地域の方々の来場を期待しての企画であると思いますが、個性ある企画とし、様々なツールで広報活動に工夫を凝らしてください。また、継続した活動となるために運営経費の削減や参加費の徴収なども考慮してください。

< 2-8 アニマシオン トイ >

- ・病児や障がい児、そのきょうだいの日常について、その実状を知る人は多くないと思います。ですから、みなさんがファンド助成事業に参加してくださったことの意味は大きいと思います。

ファンド助成事業には、交流や発信の機会がいろいろと用意されているので、ぜひそれらの機会を有効に活用して、子どもたちの暮らしの実状や活動のようすを積極的に知らせてください。今後、みなさんの活動を必要とする声は、ますます増えると思います。そうなると活動の持続がグループとしての課題になります。世田谷区内外で同じ思いで活動するグループや、公的機関との情報交換など、子どもたちへの支援を多様な人や組織と一緒に考えていく場をつくっていきけるといいと思います。

- ・支援が必要な子どもや、その子どもの周りにはいるきょうだい、家族が医療的ケアだけでなく、また、児童福祉の恩恵を越えて遊びや学びの楽しみを享受することは、その人たちがその人らしく表現をし、尊厳をもって暮らしていくためにとっても大切なことだと思います。家族に寄り添ってこられたアニマシオントイさんだからこそできる温かできめ細やかな支援が多くのお家庭に届けられることと、本ファンドの支援を受けたことが、支援の輪を広げていく一助となることを願います。ぜひ、積極的にネットワークづくりにも取り組んでください。
- ・制度の狭間で支援されない子どもがいるということを知りました。とても大切な活動だと思います。この活動がより多くの人に知ってもらえるといいなと思います。

< 2-9 区の花「さぎ草」を愛する会 >

- ・「さぎ草」をテーマに据えた講習会は複数の狙いを持った優れた企画であり、昨年度募集定員を超える応募者があった点はとても喜ばしいことです。さぎ草の生育環境についても詳らかに学ばれていて、感心させられました。将来瀬田四丁目広場をさぎ草の自生地にしたいとのお話がありましたが、世田谷区の担当部署とも少しずつ話し合いながら、是非実現させていただきたく思います。

- ・さぎ草を愛する方が多いのでこの活動を継続的に進めてください。今年度はさぎ草講習会、展示・写真展だけではなく、この活動のもうひとつ

のテーマである「みどりとみずの豊かな世田谷区のまちづくりに参加」を積極的に取り組んでください。

- ・私の家でも昔、区から配布されたさぎ草の苗を庭で育て、可憐な花の風情に癒されていきました。区の花として名前は知っていても実際に見たことがない人が多いと思います。貴会のワークショップで植えられたさぎ草が区内の家庭に広がれば、さぎ草の認知度があがるでしょう。さぎ草展示会は小坂邸だけではなく、人が多く集まるような公共施設や、小中学校など、いろいろな場所での展示も検討してください。貴会の活動がさぎ草と共に郷土愛を育てる活動となることを期待します。

< 2-10 ひょっこり兵庫島 >

- ・活動内容はもちろんですが、今の「自分たち」の力をふまえた等身大の企画に感心しました。そして、将来的な地域の計画にも目を向けて、周囲のいろいろな人や組織とつながりながら活動をすすめていきたいという姿勢にとても共感します。今後、活動が広がっていくと、たとえばまちづくりファンに代わる資金づくりや組織同士の連携、スタッフの増員やスキルアップ（すでに取り組んでいます）など、自分たちの活動を持続させるための活動や、事務局などの組織の基盤づくりの必要が出てきます。メンバー同士がいつでも風通しよく、意思疎通がはかれていること、これは活動のどの段階においても基本になるはずですが、手間はかかりますが、メンバー間で丁寧な話し合いを繰り返すことをぜひ心がけてください。
- ・お母さんたちの発案ではじまった試みが、今年の活動の経験を踏まえて、さらに発展させていただきそうで嬉しいです。まちづくりファン仲間の水辺デザインネットワークさんや様々な地域の方々との連携も素晴らしい！
- ・多摩川をフィールドに自然に親しみ、交流する活動として、活動部門の2年目となり、5回に増やしていく内容に活動の基盤が強化されたと頼もしく思っています。更なる親子等の参加を得て実施されることを期待しています。また、メンバーが講師となることや参加費を得ることも考えて、継続的な活動に一段努力していただきたい。

< 2-1-1 小径のノエル実行委員会 >

- ・個人店舗の多い下北沢らしい取り組みだと思います。ただ、クリスマスの1~2日間だけで終わらすのはとても勿体無いと思います。クリスマスに向けていろいろな仕掛けをする事で例えば1か月ぐらいかけて盛り上げていくのはどうでしょうか。

そうする事で認知度が上がり、街全域にキャンドルが灯れば協力する団体も増えていくと思います。下北沢には様々な活動する団体があるので交流を積極的に進めてください。今後のご活躍を期待しております。

- ・12月らしい演出の企画で非常に好ましく感じます。この企画を実施することで生まれるネットワークがまちにどのような価値をもたらすのかを今年は深めてほしいと思います。準備がたいへんかと思いますが、頑張ってください。

- ・2日間のイベントが中心ですが、下北沢のまちの特性への洞察がベースにあって、キャンドルを灯すことが地元小商店のネットワークづくりと来訪者に街を歩いてもらうための仕掛けを兼ねた、優れた企画だと思われます。この取り組みが日常にフィードバックされることこそが大切です。地元小商店が主体的に関与する度合いが高まるよう、クリスマス以外にも協働したくなるような機運が生まれるよう、工夫していただければ幸いです。

< 2-1-2 実家なんとかし隊 >

- ・わかりやすい入り口で、またそこから広がるビジネスの可能性を感じます。ぜひ、どのような状態になったら「まちの資産価値が向上した」と言えるのか？を考えてみてください。事業の方向性としては、現状を継続しながら、どこまでを目標とするのか？を定義してみてください。ぜひ、大きく育てていただきたいと思います。

現在は、コミュニティカフェと同時経営で回していらっしゃると思いますが、単独事業とした時の経費も改めて洗い出してみてください。人件費など間接経費もしっかり計上し、そうすることで、この事業が本当に継続していけるかどうかの課題が見えてくると思います。

また、この取り組みを”仕組み化”して、世田谷全土に展開できるような事業を検討できないでしょうか？ 自分たちでできる範囲で対応するのは当然可能ですが、一旦、形式化して、広く展開するためにはどう

したらいいのかを考えると、逆に自分たちの活動の効率化が測れると同時に、より質の高いサービス提供に繋がると思います。

ファンド活用にも限りがあります。講習会開催に伴う直接経費で使いきってしまったとしても、次につながりません。区役所や世田谷トラストまちづくりとの連携も、より具体的に検討ください。請負業務を同時進行で進めていくのもいいかもしれません。

- ・1年おいての応募。その間も黒字で活動を続けられていて素晴らしいと思います。2年の活動を通して「実家」をテーマとした活動のニーズが確認できました。今回は、実家にまつわる様々なノウハウをワンストップで取り組まれるということで、その成果を冊子やWebで紹介することで、より多くの人に届けられるといいなと思います。
- ・関心の高い社会問題に対する取り組みであると思います。勉強会や講座などの実施状況を分かりやすく、様々なツールを活用して情報発信をしてください。また、他の団体との交流により活動を広げていただくことを期待しています。

< 2-13 認知症おうちカフェ★キラリ会 >

- ・自宅サロンのモデルケースを作り上げ、それをどのように世田谷区内に広げていくのかを検討いただきたいと思います。トラストまちづくりで実施している「地域共生のいえ」のように、ノウハウを形式化し、みなさんが活動しなくとも、自然発生的に広がるような仕組みづくりまで取り組んでいただきたいと思います。

今回はフォーラム開催が主たる助成の目的かと思いますが、ぜひ次の一歩に向けた先行投資としてのお金の使い方をご検討ください。

- ・発表を聞いてとても感銘致しました。「音楽レクリエーション」で症状が良くなったことは患者本人、ご家族にとっても希望が持てるので、この活動を今後、ますます進めてください。自宅を地域に開放する事は大変だと思いますが、地域で認知症を取り組む事は大切な事だと思います。ホームページが無くフェイスブックのみの発信で全国からお問合せがあるのはそれだけこの病気で悩んでいる方が多いので是非、全国のモデルケースになってください。今後のご活躍を期待しております。

- ・介護疲れによる殺人などのニュースを聞くと、人生最期の家族との大事な時間が何でこんな悲惨な事が、と心が痛みます。貴カフェの多彩なメニ

ューが認知症患者と介護する家族の生活を明るくし、次第に広がりつつあるネットワークで地域全体で支えるという仕組みがつかれるようになると素晴らしいと思います。また自宅を利用して社会に開かれた活動ができるというモデルケースとしても貴会の活動は非常に有意義だと考えます。